

(1Pからの続き)

府中基地跡地留保地土地利用のイメージ

自然環境保全エリアを除いた東側から北側にかけてのエリアは、生涯学習センターと平和の森公園を含め一体的に土地利用を検討するエリアとなります。

市立総合体育館の移転に合わせ、現在の生涯学習センター[体育機能]の新体育館への統合、多目的グランド機能の併設、また平和の森公園の庭球場については現状の配置や面数を維持する方向で検討されています。生涯学習センター[学習機能]については、今後、中央文化センター・保健センターの用地を活用し、周辺の公共施設の機能を集約するとした基本方針に基づき、検討が進められる予定です。また、地区図書館については、現在のエリア内に残す方向で検討されます。



▲詳しくは詳細な情報は市ホームページから



※車両の写真はイメージです

災害時には地元での使用はもちろん、災害派遣トイレネットワークプロジェクトに参加する全国の自治体が所有するトイレ車両が被災地に集結することで被災地のトイレ課題を解決します。公明府中が推進し、配備が決定された防災用モビリティトイレ車両は、普通トイレ4室と多機能トイレ1室を備え、約1000回の連続使用が可能です。本年8月に納車予定となっています。



府中のまちとくらしをデザインする
市議会議員
西村りく

Member of a municipal assembly
of Fuchu city from KOMETO.
Riku Nishimura

HumanFLAG
府中市議会 公明府中
news 038

HumanFLAG 府中市議会 公明府中 news 発行元: 〒183-8703 府中市宮西町2-24 府中市議会 公明府中 西村陸 2025/01/31

議会報告

府中市2つの基地跡地の現在

令和6年第4回府中市議会定例会
基地等跡地対策特別委員会から

半世紀以上にわたり、国や東京都などと協議を重ねてきた米軍基地跡地の活用もいよいよゴールが見えてきました。府中市議会が長年関わり続けてきた2つの基地跡地の現状についてレポートします。

1 三井不動産の大型商業施設

調布基地跡地 都市整備用地 [朝日町]



三井不動産(株)が取得した都市整備用地(4ha)について、昨年9月25日、市から三井不動産へ、今回の開発事業に対し、周辺の多様な環境への配慮や調和、良好な景観形成、交通対策や地域社会への貢献などについて、市や事業者と連携して検討することなどを助言し、10月31日に売買契約締結、11月からは埋蔵文化財の発掘調査と、並行して既存樹木の撤去や解体などの作業も始まり、令和11年春頃の開業をめざして事業が進められています。今後のスケジュールは、令和7年度に基本設計、8年度に実施設計及び住民説明会、9年度から工事開始とのことです。

2 総合体育館を軸とした新たな利用計画へ

府中基地跡地留保地 [浅間町]

国による自然環境調査の結果、土地内に24種の希少動植物の生息、特にレッドリストに位置付けられているオオタカの営巣・繁殖が確認されたことから、国との協議の結果、当面の間は留保地の西半分(7.2ha)を現状のまま保全することになるなど、様々な状況の変化から、令和2年度に策定した利用計画を見直すこととし、基本的な考え方とビジョンを踏襲しつつ、総合体育館の移転を軸とした新たな利用計画の策定に向けて検討が始まっています。今回は、自然環境保全エリアを除いた留保地の東から北にかけての土地利用についてお伝えします。(続きは4Pへ)

市が示した敷地南側からのイメージ図。
実際に建設されるものはこれからの検討になります。

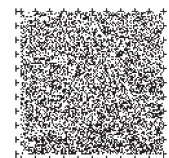


2025年もよろしくお願い致します！ 昨年は年初から市長選、夏に都議補選、秋には解散総選挙と続き、選挙と市議会定例会とが交互に訪れる慌ただしい年でした。今夏も都議選と参議院選挙が控え、前半は準備や支援に奔走することになりそうです。さて、昨今の選挙は、候補者も有権者もSNSの活用が増え、良い面もありますが、事実とかけ離れた情報の拡散や他陣営への過剰な攻撃などから投票結果に影響を及ぼす事例も見られます。一方で、政治と金の問題や、府中市議会でも新人若手議員の逮捕など、国・地方、年代問わず政治家の不祥事は後を断ちません。政治に関わる人の資質、姿勢が問われています。議員の責任感の欠如や、議会の規律の乱れ、合意形成もままならない機能不全に陥らないか、市議会の現場にいて強い危機感を持っています。政治は、国・自治体の将来像を描きつつ、そこにある大小様々な課題を解決する地道で根気のいる仕事であり、また議会の機能も重要です。何のための政治なのかを見失わず、今年も地域で皆さまとの信頼関係を築いてまいります。

府中市議会議員 西村りく

連絡先: 070-5554-0060 / riku@komeifuchu.net

令和6年度: 市議会 厚生委員会(委員長)/基地等跡地対策特別委員会 所属
【プロフィール】 1968年4月24日 岐阜県土岐市生まれ/91年 筑波大学卒業
セイコーエプソン(株)→ビース(株)→日本コカ・コーラ(株)で20年間デザイン・ディレクション・マネジメントに従事
2011年~現職(4期14年目)/2021-23年 市議会副議長/公明党府中総支部 総支部長/白糸台3丁目在住
防災士/国際ユニバーサルデザイン協議会UD検定・中級(認定番号 第00097号)/アートディレクター・デザイナー



このページの音声コード



このページの音声コード

議会報告

雑誌・雑がみの排出と収集をより快適に

「雑がみ」がかさんで困る、との多くの声から

令和6年第4回定例会・一般質問①

雑がみがかさんで困るといった声がいくつも届いています。毎週水曜に収集される資源ゴミは、令和4年度から段ボールが月3回に増え、雑誌・雑がみは月1回に減りました。自治会等での自主回収が充実している地域や集積場所を独自に設置しているマンションもありますが、雑がみはかさばりやすく、困っている世帯は少なくありません。質問では、現状の収集方法を確認した上で、段ボールの収集を減らす、雑がみの収集を充実するために様々な視点から提案しました。引き続き取り組みます。



▲2件の一般質問の動画

議会報告

孤独・孤立によって苦しむ人をどう支えるか

重層的支援体制整備の確立を

令和6年第3回定例会・一般質問

単身世帯が増える中、特にひきこもりや心身の不調などがある人の場合、見守りの目も届きににくく、状況が悪化するケースも見られます。市は福祉総合相談や文化センターでの困りごと相談会の拡大、コーディネーターの配置など整備を進めてきましたが、課題を抱える人を真ん中に、チームで支える新たな体制(重層的支援体制整備)の構築が急務であることや、ひきこもり地域支援センターなどの設置を要望し、市側からは前向きな答弁がありました。



▲一般質問の動画

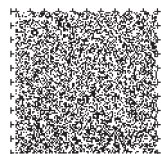
議会報告

AIを活用して、風水害時の避難支援をサポート

自主避難が困難な高齢者や障がい者を守る

令和6年第2回定例会・一般質問①

風水害時における浸水想定区域に住む高齢者や障がい者の避難支援は、日常から地域コミュニティを活発にし、地域防災力を向上することが基本とされていますが、具体策として、全体計画に基づき、一人ひとりの個別支援計画の策定も急がなければなりません。また、風水害時にスピーカーの音が聞こえず、スマートフォンやパソコンを利用していない要支援者の避難を促すために、電話とAIを組み合わせた陸前高田市の事例を紹介し、導入を求めました。



▲このページの音声コード

議会報告

誰もが投票できる環境整備を

自身での記入が難しい人も安心して投票へ

令和6年第4回定例会・一般質問②

期日前投票所や市内50か所ある投票所では、バリアフリー環境を整え、また投票所へ行けない方に郵送で対応する代理記載制度は市HPに掲載されていますが、投票所へ行けても自身での記入が難しい人に職員が付き添い代理記入する代理投票制度はあまり知られていません。そこで、あらためて代理投票制度の周知や、市ではまだ採用されていない投票支援カードの導入を求めたところ、なるべく早いタイミングでの導入に向けて検討するなど前向きな答弁がありました。



▼一般質問が行われる議場から



▲[写真①] 政策懇談会(ヒアリング)の様子

議会報告

紙が話す音声コードを、すべての発行物に

今回このニュースでも実践してみました☆

令和6年第2回定例会・一般質問②

視覚に障害のある人が必要な情報を自身で読める環境を提供するため、市の発行物への音声コード表記を標準化することを求めました。当事者で点字を使える割合は数十年前の調査でも1割程度とされており、今やITの活用による音声変換が主流。音声コード作成ソフトは障害者福祉課が所有し、同課発行の主な印刷物には掲載していますので、庁内全体に広げるよう要望しました。作成にあたり、必要なプロセスや時間、コストの課題はありますが、引き続き取り組みます。



▲2件の一般質問の動画

議会報告

学校施設の老朽化対策が見直されます

改築・長寿命化改修計画(案)示される

学校施設老朽化対策特別委員会から

令和元年度策定の改築・長寿命化改修計画に基づき改築された八小・一中、今年度末竣工予定の三小・六小では、建設費高騰や防災・環境対応など必要な機能付加による費用の増加、コロナ禍以降の子どもの減少など新たな課題が見えてきたことから、12月議会では、改定された第2次府中市学校施設改築・長寿命化改修計画案が示されました。小中全33校対象に令和37年度までの31年間で総額約1800億円。次期対象校は五小・九小、統合検討校に七小と武蔵台小が選定。

会派活動

来年度予算に向けて皆さまからの声を届けます

各分野・業界の声+市民の声+市政課題

ヒアリング実施から市長への予算要望書提出へ

公明府中議員団は、9月に令和7年度府中市予算に向けた政策懇談会〔写真①〕を開催し、都市整備、子育て、土業、福祉、組合など各分野の12団体から様々な問題提起や要望が寄せられました。これまで議会では取り上げてきたテーマや日頃の市民相談でいただいた課題等も併せて170項目からなる令和7年度予算編成に関する要望書を10月29日に高野律雄市長へ提出〔写真②〕。さらに、年明け1月8日にはワクチン接種に関する緊急要望書も提出〔写真③〕しました。

調査研究

バス路線のアンケートを実施 地域住民のニーズを探る

新町文化センター圏域中心に339人が回答

地域内で活動する超党派の議員が共同で実施



▲このページの音声コード

地域課題

事故が多い十字路の安全対策を推進

赤色回転灯や表示などを改善

朝日町1丁目の事故防止策



度々接触事故が起きていた十字路の現場を継続的に観察し、可能な限りの防止策として、3本のミラーの調整、看板・表示の新設やリフレッシュ、赤色回転灯の取替えなど、5つの要望を市の関係課へ伝え、段階的に改善されました。



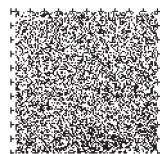
←5つの改善要望

▼[写真②] 予算編成に関する要望書を高野律雄市長へ提出(10月29日)



▲[写真③] ワクチンに関する緊急要望書を高野律雄市長へ提出(1月8日)

運転手不足などの理由によりバス路線の維持が困難になりつつあり、市は地域公共交通協議会を発足させ、市内バス路線再編の検討を進めています。昨年3月に叩き台が示され、4月に各文化センターで市民対象の意見交換会、5月に市民アンケートが実施されました。その中で、駅がなく、南北を走る民間バス路線が充実し、ちゅうバス路線がない新町文化センター圏域を中心とした地域で、以前から「東西を走る路線がほしい」という声が根強くあることから、あらためて住民ニーズを確認するため、超党派の議員有志でこの地域を対象に独自に調査を実施し、339人から回答が寄せられました。調査結果から見えた課題に対して必要と思われる対策があれば、今後市への提案に繋げて行きたいと思っています。アンケート結果は左の二次元バーコードからご覧いただけます。



市民の皆さまのご意見やお困りごとなどあれば、お気軽にお寄せください。